

四季彩の杜づくり支援 再エネ企業連絡会 設立趣意書

1. 設立の背景

北海道当別町を拠点とする「四季彩の杜をつくる会」は、100haを超える山林において、草刈り、不用木の整理、広葉樹の植樹、薪の生産・販売、東屋の建設など、多様な森林整備活動を展開しています。

これまでの活動を支えてきた国の補助制度には「原則 6 年間まで」という期間制限があり、継続的な活動を今後行うためには、新たな資金的・人的支援の基盤が求められています。

このような背景を踏まえ、地域に根差した再生可能エネルギー企業の皆さまと連携し、森づくりの活動を共に支えるネットワークとして「四季彩の杜をつくる会とこの活動を支援する再エネ企業との連絡会」を設立する運びとなりました。

2. 目的

本連絡会は、以下の目的のもとに活動を行います。

- 地域の再エネ企業と連携した、四季彩の杜の持続的な整備支援体制の構築
- 再エネ事業と森林保全を結びつけた、環境と地域が調和する社会モデルの創出
- 地域企業間の情報共有や相互交流を通じたネットワークづくり
- SDGs・ESG の観点からの企業価値向上と社会的責任の実践支援

3. 主な活動内容

- 四季彩の杜の整備活動（草刈り・植樹・東屋整備等）への協力・参加
- 協賛（1口 30,000 円～）による資金的支援（年間 500 万円規模を想定）
- 年 1 回の現地交流・視察会の開催
- 年 2 回程度の会員報告・情報交換会（オンライン含む）
- 森林空間を活用した企業研修、CSR 活動、教育活用等の提案と実施支援

4. 会員対象

- 石狩市・札幌市・当別町を拠点に、再生可能エネルギー関連事業（太陽光・風力・バイオマス・小水力等）を行う企業
- 四季彩の杜の理念に賛同し、継続的な支援・連携を希望する企業
※必要に応じて、関連自治体・有識者・NPO等のオブザーバー参加も想定

5. 今後のスケジュール（予定）

- 2025 年 10 月：設立準備会（オンライン開催）
- 2025 年 11 月：現地視察・設立総会
- 2025 年 11 月以降：会員活動開始・情報共有体制の運用

6. お問い合わせ・申込先

四季彩の杜をつくる会（代表：藤田 宏司）

活動地 〒061-0201 北海道石狩郡当別町青山

事務局 〒061-3601 北海道石狩市厚田区厚田 1 8 番地 1

Email：info@hokkaido-shikisainomori.com

Web サイト：<https://hokkaido-shikisainomori.com>

「100 年先の森」を、地域の再エネ企業とともに。

SDGS 「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です

ESG 「Environment（環境）」「Social（社会）」「Governance（ガバナンス／企業統治）」の頭文字を取った言葉で、企業や投資家が持続可能性を評価するための重要な視点です。

*CSR 活動（企業の社会的責任活動）とは、企業が利益追求だけでなく、社会や環境への責任を果たすために行う取り組みです。単なるボランティアや寄付ではなく、企業の本業と密接に関わる「持続可能な経営」の一環として位置づけられています。地域社会への貢献：ボランティア活動、寄付、インフラ支援を含む。